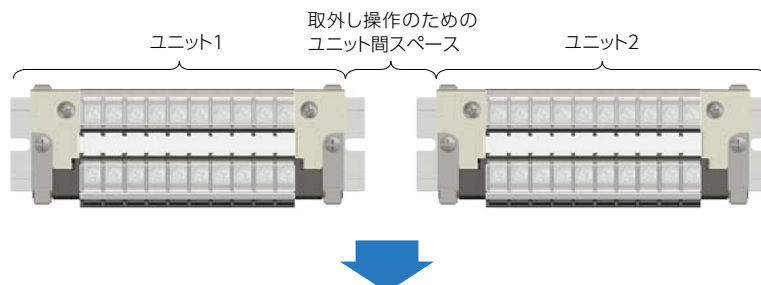


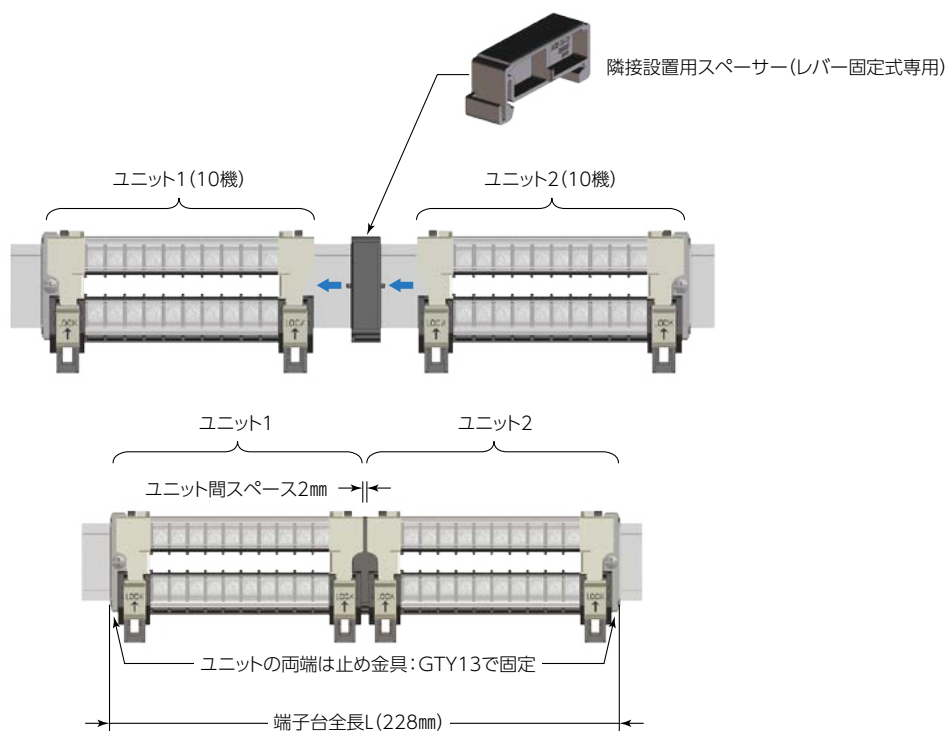
特長

隣接設置を省スペース化

ネジ固定式：ATXSL-10/30/10MC組端子台は、上部端子台の取外し操作のため、ユニット間に十分なスペースが必要



レバー固定式：ATXRL-10/30/10MC組端子台では、レバー操作で取外しを行う事によりユニット間を省スペース化
同一レール上への複数ユニット隣接設置が可能です（レバー固定式のみ設定）
ユニット間には専用スペーサーを配置し、ユニット間スペース2mmでの隣接設置を実現!!



$$\text{端子台全長}L = (\text{端子台幅}(\square\text{mm}) \times \text{総極数}) + (32\text{mm} \times \text{総ユニット数}) + 4\text{mm}$$

$$(\text{ATXRL-10の例}) 228\text{mm} = (8\text{mm} \times 20\text{極}) + (32\text{mm} \times 2\text{ユニット}) + 4\text{mm}$$

※隣接設置組端子台は受注生産のためお問合せください。

※1ユニット=2P~20P(ATXRL-10/10MC) / 1ユニット=2P~22P(ATXRL-30)

※レール寸法が500mmを超える場合、レールを3ヶ所以上で固定してください。

固定位置にはユニットを隣接設置せずに、止め金具で固定しスペースを空けてください。